

◆ 今週のコメント

- ・「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律等(感染症法)」が平成19年4月1日より一部改正されたことに伴い、対象疾病、届出基準等に変更がありますので、ご注意ください。
- ・インフルエンザの定点当たり報告数は4.10で、第11週以降顕著に減少しているものの、今シーズンは、例年に比べて流行の時期が遅く、過去5年間の同時期と比較して最も多くなっています。
- ・感染性胃腸炎の定点当たり報告数は5.49で、先週(6.56)に比べ少なくなっていますが、第1週以降緩やかな増加傾向となっています。年齢階級別にみると、1歳(18.6%)が最も多くなっています。
- ・流行性角結膜炎の定点当たり報告数は0.90で、過去5年平均値(0.52)を上回る値となっています。全例(9例)20歳以上となっています。

◆ 今週のトピックス:<細菌性赤痢>

- ・細菌性赤痢の報告が1例で、本年の累積報告数は2例となっています。詳細は、トピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数報告の感染症

- ・三類:細菌性赤痢(ソネ) 1例
- ・四類:A型肝炎 1例(第13週追加分)

定点報告の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点68, 小児科定点41, 眼科定点10, 基幹定点1)

定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	4.10	279
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	5.49	225
	② 水痘	1.12	46
	③ 突発性発しん	0.46	19
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.37	15
	⑤ 流行性耳下腺炎	0.24	10
眼科	流行性角結膜炎	0.90	9

病原体情報

検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)	検出病原体(報告数)	臨床診断名(採取週)
インフルエンザウイルスAH3型(1)	かぜ症候群(第13週)	インフルエンザウイルスB型(1)	インフルエンザ(第14週)
RSウイルス(1)	かぜ症候群(第9週)	A群ロタウイルス(2)	感染性胃腸炎(第13, 14週)

【次ページ以降の主な内容】

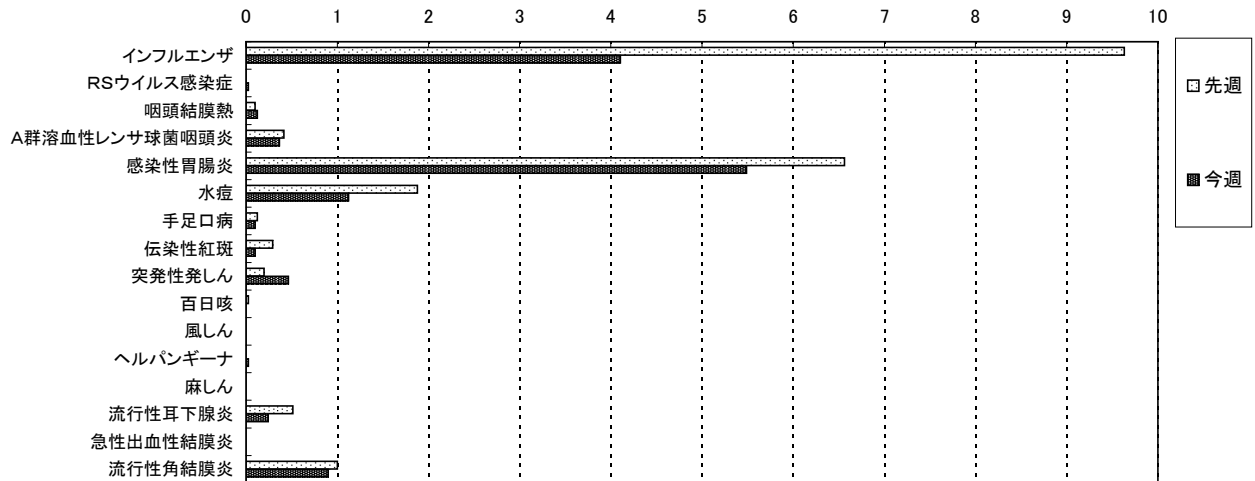
発生状況の概況グラフ / 今週のトピックス:<細菌性赤痢>

付表(疾病, 保健所別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

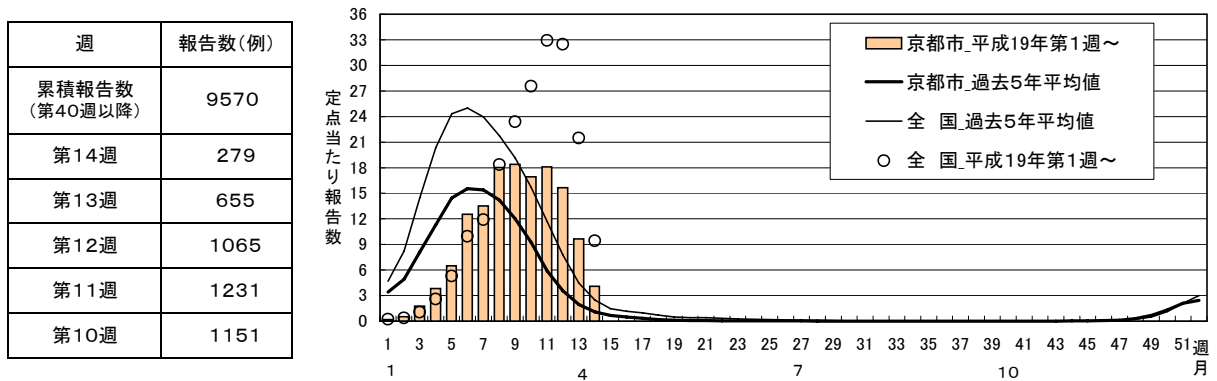
(注)京都市のデータは平成19年4月16日現在の報告数で、全国の還元データと若干異なる場合があります。
また、本情報での患者数は届出医療機関所在の保健所での集計で、患者の住所を示すものではありません。
病原体情報は病原体定点等から京都市衛生公害研究所へ搬入された検体から検出された病原体です。

◆ 発生状況の概況グラフ

1 今週(第14週)と先週(第13週)の定点当たり報告数の比較

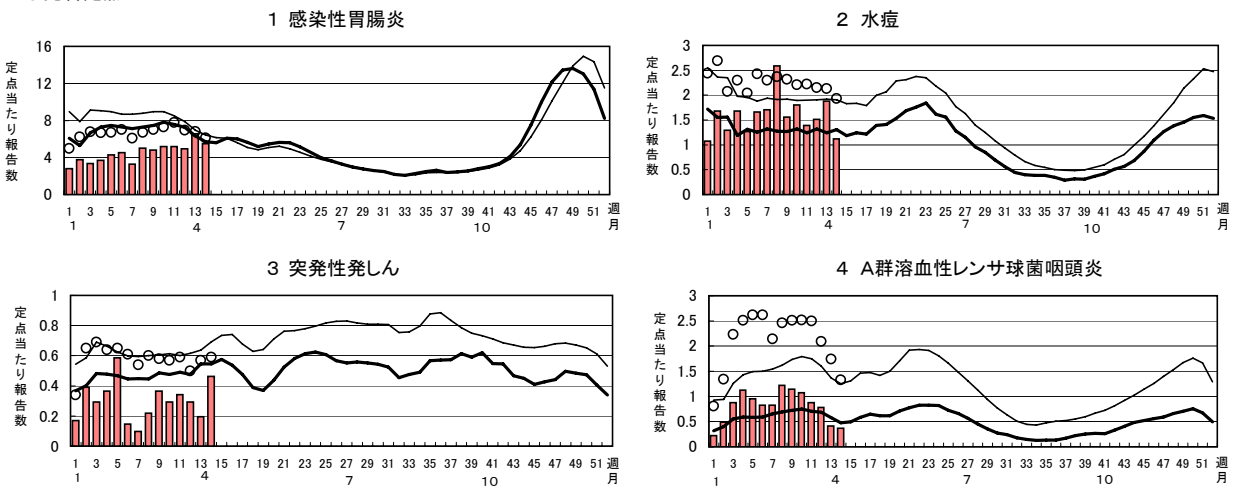


2 インフルエンザの定点当たり報告数の推移

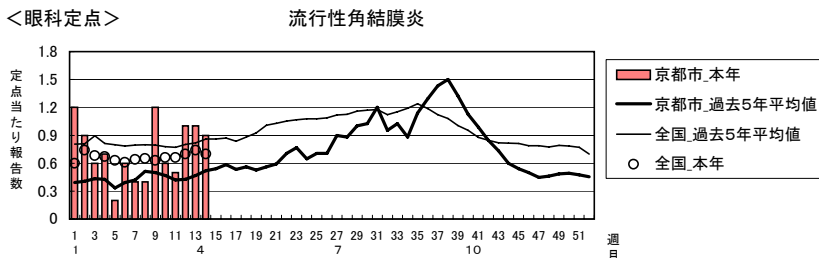


3 主な感染症(小児科)の定点当たり報告数の推移

<小児科定点>



<眼科定点>



今週(第14週)のトピックス: <細菌性赤痢>

細菌性赤痢の本年の累積報告数は2例です。本疾病は、感染症法の改正に伴い、平成19年4月1日付けで二類感染症から三類感染症に変更となっています。新しい発生届出様式は、京都市保健福祉局地域医療課のホームページからダウンロードすることができます。

平成11年第13週以降の診断年別報告数の推移をみると、平成12年(28例)が最も多く、菌種別では昨年を除き、ソンネが最も多くなっています。本年の2例も、ともにソンネとなっています。

平成11年第13週～平成19年第14週までの累積報告数(103例)をみると、次のとおりです。

感染地域別では、インド、タイ、インドネシアの順に多くなっており、ほとんどがアジアを中心とした海外渡航例での感染で、国内での感染は、5例のみとなっています。

年齢群別では、世界的には10歳未満の小児での感染が多い(約80%)疾患ですが、日本では、全国、京都市ともに20歳代が最も多くなっています。

診断月別では、3月、4月及び8月、9月で多くなっています。

2000年に全国の指定感染症医療機関で分離された赤痢菌の薬剤耐性感受性試験成績によると、国内例、輸入例ともに耐性株も認められ、今後増加することも危惧されます。

手洗いの励行が予防の基本です。また、流行地へ渡航する際は生水、氷、生の魚介類、カットフルーツなどを避けることが肝要です。小児や高齢者では重症化しやすいので、注意しましょう。

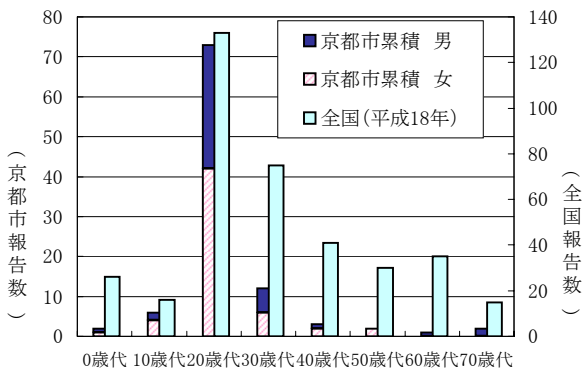
診断年別菌種別年報告数の推移

年	全国 総数	総数	京都市				
			菌種別				
			ディセンテリ	ソンネ	フレキシネル	ボイド	不明
平成11年 (第13週～)	620	8	1	4	3	0	0
平成12年	843	28	1	16	9	0	2
平成13年	844	15	1	12	1	0	1
平成14年	699	11	0	10	1	0	0
平成15年	473	15	1	10	2	2	0
平成16年	594	9	0	7	2	0	0
平成17年	553	12	0	8	0	0	4
平成18年	371	3	0	0	2	1	0
平成19年 (～第14週)	132	2	0	2	0	0	0

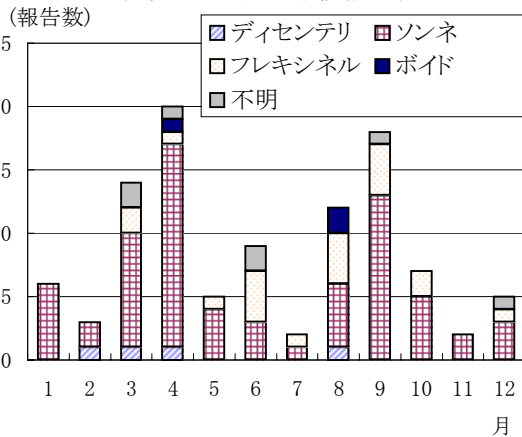
感染地域別累積報告数(N=103)

	総数	ディセンテリ	ソンネ	フレキシネル	ボイド	不明
総数	103	4	69	20	3	7
海外	94	4	62	18	3	7
詳細 (複数 回答)						
インド	34	3	19	7	2	3
タイ	15	1	10	3		1
インドネシア	11		9	2		
カンボジア	6		3	3		
中国	5		4	1		
ベトナム	5		2	1		2
その他のアジア	15		9	2	2	2
アジア以外	11		9	2		
国内	4		4			
不明	5		3	2		

年齢群別京都市の累積(N=103)及び全国の年報告数(N=371)



菌種別診断月別累積報告数(N=103)



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第14週

疾病,保健所別報告数

平成19年4月2日～平成19年4月8日

データ入手日:平成19年4月16日

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	52	-	-	-	2	1	-	-	5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	26	-	-	-	4	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	14	-	-	-	8	6	-	1	1	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	15	-	-	-	14	2	-	-	1	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
東山	10	-	-	-	25	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	16	-	-	-	12	5	-	1	3	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-
下京	3	-	-	-	3	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	39	-	1	5	47	12	-	1	3	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	21	-	-	-	27	2	1	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
伏見	33	1	3	-	33	5	1	1	4	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
西京	50	-	1	10	50	10	2	-	1	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	279	1	5	15	225	46	4	4	19	-	-	1	-	10	-	9	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

性,疾病,保健所別定点当たり報告数

	(※)インフルエンザ	RSウイルス感染症	咽頭結膜熱	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	百日咳	風しん	ヘルパンギーナ	麻しん(※)	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎(※)	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	(※)クラミジア肺炎	成人麻しん	
男女合計																						
北	7.43	-	-	-	0.50	0.25	-	-	1.25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
上京	5.20	-	-	-	1.33	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
左京	2.00	-	-	-	2.00	1.50	-	0.25	0.25	-	-	-	-	0.25	-	-	-	-	-	-	-	-
中京	3.00	-	-	-	4.67	0.67	-	-	0.33	-	-	-	-	0.33	-	1.00	-	-	-	-	-	-
東山	3.33	-	-	-	12.50	0.50	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
山科	2.29	-	-	-	3.00	1.25	-	0.25	0.75	-	-	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-
下京	1.00	-	-	-	1.50	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
南	7.80	-	0.33	1.67	15.67	4.00	-	0.33	1.00	-	-	-	-	2.00	-	-	-	-	-	-	-	-
右京	2.63	-	-	-	5.40	0.40	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	4.00	-	-	-	-	-	-
伏見	3.00	0.14	0.43	-	4.71	0.71	0.14	0.14	0.57	-	-	0.14	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-
西京	7.14	-	0.25	2.50	12.50	2.50	0.50	-	0.25	-	-	-	-	0.50	-	-	-	-	-	-	-	-
京都市計	4.10	0.02	0.12	0.37	5.49	1.12	0.10	0.10	0.46	-	-	0.02	-	0.24	-	0.90	-	-	-	-	-	-

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第14週

年齢階級, 疾病別報告数

平成19年4月2日～平成19年4月8日

データ入手日:平成19年4月16日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	279	1	4	9	8	10	18	8	8	9	8	6	19	25	38	40	35	12	8	7	6
RSウイルス感染症	年齢3	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		5	-	1	1	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		15	-	-	1	1	1	2	4	1	2	2	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		225	5	17	42	30	9	24	21	18	10	5	5	14	2	23	-	-	-	-	-	-
水痘		46	1	3	4	8	6	7	2	4	7	1	-	2	-	1	-	-	-	-	-	-
手足口病		4	-	1	1	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		4	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		19	2	9	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		10	-	-	-	3	3	1	-	1	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	2	2	-	2	-
細菌性髄膜炎(※)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
成人麻しん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

性,年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
男女合計	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳-	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳-	80歳以上
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳-	15歳-	20歳以上	30歳-	40歳-	50歳-	60歳-	70歳以上	
	年齢4	総数	0歳	1歳-	5歳-	10歳-	15歳-	20歳-	25歳-	30歳-	35歳-	40歳-	45歳-	50歳-	55歳-	60歳-	65歳-	70歳以上				
インフルエンザ(※)	年齢1	4.10	0.01	0.06	0.13	0.12	0.15	0.26	0.12	0.12	0.13	0.12	0.09	0.28	0.37	0.56	0.59	0.51	0.18	0.12	0.10	0.09
RSウイルス感染症	年齢3	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
咽頭結膜熱		0.12	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.37	-	-	0.02	0.02	0.02	0.05	0.10	0.02	0.05	0.05	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-
感染性胃腸炎		5.49	0.12	0.41	1.02	0.73	0.22	0.59	0.51	0.44	0.24	0.12	0.12	0.34	0.05	0.56	-	-	-	-	-	-
水痘		1.12	0.02	0.07	0.10	0.20	0.15	0.17	0.05	0.10	0.17	0.02	-	0.05	-	0.02	-	-	-	-	-	-
手足口病		0.10	-	0.02	0.02	0.02	-	-	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
伝染性紅斑		0.10	-	-	-	-	-	0.02	-	0.02	-	-	-	0.05	-	-	-	-	-	-	-	-
突発性発しん		0.46	0.05	0.22	0.20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
百日咳		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
風しん		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ヘルパンギーナ		0.02	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.02	-	-	-	-
麻しん(※)		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎		0.24	-	-	-	0.07	0.07	0.02	-	0.02	-	0.02	-	0.02	-	-	-	-	-	-	-	-
急性出血性結膜炎		-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
流行性角結膜炎		0.90	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.30	0.20	0.20	-	0.20	-
細菌性髄膜炎(※)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
マイコプラズマ肺炎	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
クラミジア肺炎(※)	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
成人麻しん	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:平成19年第14週

週, 疾病別報告数

データ入手日:平成19年4月16日

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	1,252	1,151	1,231	1,065	655	279
RSウイルス感染症	2	1	4	-	-	1
咽頭結膜熱	-	-	4	1	4	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	47	44	36	32	17	15
感染性胃腸炎	197	212	213	203	269	225
水痘	64	74	57	62	77	46
手足口病	9	14	12	13	5	4
伝染性紅斑	19	10	5	9	12	4
突発性発しん	15	12	14	12	8	19
百日咳	1	-	1	-	1	-
風しん	-	-	1	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	1
麻しん (※)	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	12	19	14	13	21	10
急性出血性結膜炎	-	-	2	-	-	-
流行性角結膜炎	12	6	5	10	10	9
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	1,630	1,543	1,600	1,420	1,079	618

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。

性,週, 疾病別定点当たり報告数

京都市 男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※)	18.41	16.93	18.10	15.66	9.63	4.10
RSウイルス感染症	0.05	0.02	0.10	-	-	0.02
咽頭結膜熱	-	-	0.10	0.02	0.10	0.12
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	1.15	1.07	0.88	0.78	0.41	0.37
感染性胃腸炎	4.80	5.17	5.20	4.95	6.56	5.49
水痘	1.56	1.80	1.39	1.51	1.88	1.12
手足口病	0.22	0.34	0.29	0.32	0.12	0.10
伝染性紅斑	0.46	0.24	0.12	0.22	0.29	0.10
突発性発しん	0.37	0.29	0.34	0.29	0.20	0.46
百日咳	0.02	-	0.02	-	0.02	-
風しん	-	-	0.02	-	-	-
ヘルパンギーナ	-	-	-	-	-	0.02
麻しん (※)	-	-	-	-	-	-
流行性耳下腺炎	0.29	0.46	0.34	0.32	0.51	0.24
急性出血性結膜炎	-	-	0.20	-	-	-
流行性角結膜炎	1.20	0.60	0.50	1.00	1.00	0.90
細菌性髄膜炎 (※)	-	-	-	-	-	-
無菌性髄膜炎	-	-	-	-	-	-
マイコプラズマ肺炎	-	-	1.00	-	-	-
クラミジア肺炎 (※)	-	-	-	-	-	-
成人麻しん	-	-	-	-	-	-
合計	28.54	26.94	28.61	25.08	20.73	13.05

※ インフルエンザは鳥インフルエンザを除く。また麻しんは成人麻しんを、細菌性髄膜炎は髄膜炎菌性髄膜炎を、クラミジア肺炎はオウム病を除く。